



六かき

平成23年4月28日(木)

No. 5

江戸川区立第六葛西小学校
校長 伊藤辰久

江戸川区西葛西4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510
メールアドレス: kasai6s@EDOGAWAKU.ed.jp

読書は心の栄養 読書の好きな子に

平成13年、『子どもの読書活動の推進に関する法律』が定められ、4月23日を『子ども読書の日』とすることが定められました。そして4月23日から5月12日までが、毎年『子ども読書週間』となっています。

22日(金)は、江戸川区全体で『一斉朝読書』が実施されました。本校でも22日には「朝読書」が取り組まれ、校内がシ～ンとした静けさに包まれました。

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

本校では、子どもたちが活発な読書活動を進められるよう、「読書月間」を設定したりしながら様々な読書活動の取り組みを進めてきました。

保護者の皆さんには、全クラスで毎週「読み聞かせ」活動を進めていただき、『本の好きな子どもを育てる』お手伝いしていただいています。また、「ろくっこブックまま」さんには、木曜日に図書館整備の活動を進めていただき、「来なくなる図書館」「本を読んでもみたくなる図書館」づくりを進めていただいています。

『読書の好きな子どもに』を合言葉に、今年度も旺盛に取り組むを進めます。ご家庭でもご協力ください。今年も下記のボランティアを保護者の皆様をお願いします。

○お子さんのクラスで「読み聞かせ」をしてみませんか。読み聞かせのボランティアを

募集中です。誰にでもできる活動です。ボランティア案内に記入の上、担任まで提出してください。

『読み聞かせボランティア』交流会
5月2日(月)午後2時30分～

○『読み聞かせ』ではなく、で図書・読書環境整備のボランティアも募集中です。

毎週木曜日、10時30分～、図書室で『ろくっこぶっくまま』が活動していますから、ぜひおいでください。「活動見学会」を5月に実施します。



連休中及び前後における生活について

29日から大型連休に入っていきます。連休中及び前後における子どもたちの生活が安全で楽しいものとなりますよう願っております。

つきましては、下記の諸点について、各ご家庭でも十分ご指導ください。

1、健康的で規則正しい生活をしましょう

○休み中はとかく生活リズムが乱れがちになります。調和の取れた生活をお願いします。健康のチェックも怠りなくお願いします。

2、安全な生活をしましょう

○交通安全に 心がけましょう(親子で、自転車の乗り方、道路の横断の仕方など、話し合ってください)

○事件などを巻き込まれないようにするため

・出かける時は防犯ベルを着用する。

・人通りの少ない場所での一人遊びをしない。

・エレベーターに乗る時は、一人で乗ることはできるかぎり避けるようにする。

○不審者からの声かけなどにのせられないために

・「道を尋ねる」「ものを買ってあげる」などと誘われても、知らない人の誘いにのらない。

・危険なことに出あったら大声で助けを求め、「子ども110番」の家に飛び込む。

*以上の様なことを日頃から親子でよく話し合っておいてください。

*また、習い事などで帰宅が遅くなる場合は、お迎えなどの手配を取ってください。

*こうしたことが発生した場合は、学校に連絡をしていただくと共に、警察にも通報しパトロールの強化もお願いしてください。

3、遊びの約束を守りましょう

○外出時には「誰と、どこへ、いつ帰るか」を必ず伝えて出かける。

○午後5時30分までに家に帰る

○お金にまつわる被害(恐喝など)

にあわないよう、できるだけお金を持って遊びに行かない。

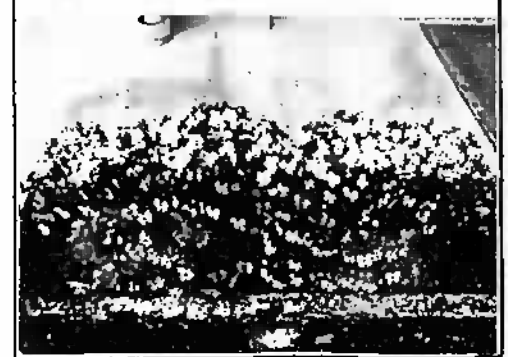
○ピンポンダッシュ、エレベーターのいたづら、落書きなど、他の人に迷惑をかけるようなことはしない。

4、家族とのふれあいを大切に

○家族で団らんの場を設け、家族のふれあいの機会を大いに持ってください。

○さまざまな体験の機会をつくってあげてください。

花壇にきれいな花が咲きました。主事さんが丹誠込めて育ててくれました。



1、本校の教育目標

1、教育目標

- 考える子 ○思いやりのある子 ○やりぬく子 ○元気な子

「考える子」を本年度の教育の重点とし、基礎・基本的な内容の確実な定着を通じて学力の向上を図る。また、これまで「深く考える」「よりよく考える」「相手の立場にたって考える」など「考える子」についての実践を引き続き強め、人間性豊かな児童の育成に努める。

2、スローガン

- ・関わり合い、認め合い、高め合う六葛西の子(子どもたち)
- ・明るく、やさしく、元気よく(教職員)

2、学校の基本

1. 子どもにとって安全で、明るく楽しく、学ぶ楽しさが得られる学校
2. 子ども同士の人と人との関わりを通じて、思いやり的心や協調性、公正さや忍耐力など、未来の社会の担い手としての道徳観や倫理観を育むことのできる学校
3. 学校・保護者・地域としっかり連携し、信頼される学校。

3、平成23年度の重点

① 『学力向上』を学校教育の中心課題として取り組みを進める

- ①実態調査や「学力調査」の結果を活用し、「○基礎基本の徹底 ○読解力の向上 ○考える力の育成」など『しっかりした学力』を高める。
- ②子どもたちの学力向上の土台ともなる「読書活動」を校内研究と結合し引き続き重視する。江戸川区の『読書科』の本格実施の準備をする。そのために、朝自習時(火・木・金)の2回以上の「朝読書」と授業時間での「読書」を合わせて、年間35時間を確保していく。
- ③「言語活動」をあらゆる分野で取り入れ、活かす。
- ④新しく始まる外国語活動については、5・6年生は年間35時間実施、1～4年生は年間10時間程度実施する。
- ⑤学力向上、学校公開、授業時間確保などのための土曜日における教育課程に位置づけられた授業を実施する。(後述参照)

② 『学校が楽しい』と実感できる学校教育を進める

- ①「楽しく学べる」「より良い人間関係が作れる」ことは子どもたちにとって大事な教育環境です。自信や意欲、自己肯定感等はこうした中で育まれることとなります。「学校が楽しい」と実感できる教育活動を大いに進めます。
- ②「読書指南役の手法の研究」の成果を生かし『読書の好きな子どもの育成』の取り組みをいっそう推進します。

- ③PTA、地域、六雄会、学校応援者などとの協力関係を強め、『楽しい学校づくり』を推進します。

③ 一人一人のよさを引き出し、子どもたちの内面に迫る指導を進める

- ①どの子も成長過程であり、発達途上人です。生活のルールや規範意識なども学習過程です。効果や結果はすぐに出るものでもありません。「子どもの間違いはあるもの。そこから学習する」という認識で、「繰り返し繰り返し指導する」「説得と納得の指導」により、「子ども同士のかかわりの中で、思いやり的心や協調性など、心を育む学校」づくりを進め、子どもたちの健全な育成を図りましょう。
- ②「いじめは絶対に許さない」の決意のもと、人権尊重の精神を培い、人間としてあるべき価値観、「集団生活におけるルール」「市民道徳」など、規範意識の高揚に努めます。
- ③人間は一人で生きているのではなく、相互に支えられながら生きている。『一人はみんなのために、みんなは一人のために』の精神、市民社会に生きるためになくならない考え方・実践力を身につけさせる。

④ 『読書活動』を「校内研究」、「学力向上」、「読書応援団」などと結合させ、学校の中心課題として旺盛に進める

- ①「読書の好きな児童の育成」を中心テーマに『読書指南役の手法を研究するモデル事業』の研究の成果と教訓を校内研究に活用し、「読書活動」を展開します。
- ②「読み聞かせ」ボランティア、「ろくっこぶくま」の協力を得て、読書活動のいっそうの活性化を図る。

⑤ ジャナジョティ小学校との姉妹校交流を地域と共に推進する

- ①11月1日のネパール姉妹校記念日を中心に知る活動、交流などを進めます。
- ②財政的な支援を引き続き進めます。

⑥ 「家庭・地域に信頼され、地域とともに伸びる学校」を基本とし、家庭・地域のニーズに応える学校、家庭や地域の力を生かした学校づくりを進める

4、安全・安心な学校づくりを進める

- ①災害からの安全
- ②交通安全
- ③不審者などからの安全
- ④「薬物乱用防止教室」「ケータイ安全教室」などの非行防止教室の開催。

5、土曜日の授業について

- ・確かな学力の定着を図るために授業時数の確保、授業の公開、道徳授業地区公開講座、「生活リズム」公開講座、セーフティ教室、保護者や地域住民などをゲストティーチャーに招いての授業などに当てるため土曜日に授業を実施します。